

## 令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	「きいばす」エネルギー環境教育推進事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」において、再生可能エネルギーの普及・啓発につながる見学会、各種教材を活用した講座、体験等を開催する。	
総事業費	14,020,434円	
補助金充当額	14,011,414円	
定量的目標	入館者数48,000人	
補助事業の成果及び評価(事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)	日々変化する世界のエネルギー情勢に合わせた体験プログラムやイベント・講座を実施した。「2050年温室効果ガス排出量ゼロ」目標の背景、達成方法や課題など、エネルギー環境教育の分野において取り組むべき喫緊のテーマに沿った体験学習の提供により、エネルギー構造高度化に関する理解促進が図れた。令和4年度の入館者数は、約13,500人で新型コロナの影響から回復しつつあるが、目標には到達出来なかった。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	<ol style="list-style-type: none"> <li>見学会実施業務</li> <li>夏休みエネルギーフェア2022広告</li> <li>ステージイベント開催業務</li> <li>インモーション等体験会業務</li> <li>ZEH模型製作業務</li> <li>秋のきいばすフェスタ開催業務</li> <li>ロボットプログラミング体験会開催業務</li> <li>きいばす春祭り広告</li> </ol>
	契約の方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>随意契約</li> <li>随意契約</li> <li>随意契約</li> <li>随意契約</li> <li>随意契約</li> <li>随意契約</li> <li>随意契約</li> <li>随意契約</li> </ol>
	契約の相手方(間接補助先)	<ol style="list-style-type: none"> <li>(株)旅工房</li> <li>(有)キャストコミュニケーションズ</li> <li>(株)マインドアンドサウンドライフ</li> <li>(株)ピーサポート</li> <li>TOPAZ模型</li> <li>福井テレビジョン放送(株)</li> <li>(株)ナンバーフォー</li> <li>(有)キャストコミュニケーションズ</li> </ol>
	契約金額(間接補助金額)	<ol style="list-style-type: none"> <li>3,970,583円</li> <li>336,600円</li> <li>440,000円</li> <li>407,000円</li> <li>489,500円</li> <li>4,895,000円</li> <li>460,592円</li> <li>355,300円</li> </ol>
来年度以降の事業見通し	来館者に生活を支えるエネルギー供給の現状や再生可能エネルギー普及の必要性等について理解を深めてもらい、エネルギー構造転換に対する理解促進を図るために来年度以降も事業を実施する。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	美浜町エネルギーシェアリング可能性調査事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	再生可能エネルギーの地産地消により、エネルギー構造の転換を図ることを目的に、現在、再生可能エネルギー設備が設置されている町内公共施設及び今後整備予定の公共施設の電力需給の把握や余剰電力の送電手段（自己託送等）の調査、及びその事業性を評価するための可能性調査を実施する。	
総事業費	9,328,000円	
補助金充当額	9,328,000円	
定量的目標	余剰電力の他施設における活用及びその広報	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	美浜町環境教育体験館「きいばす」の追尾式太陽光発電設備で発電された電力を美浜町役場庁舎に供給する想定で、余剰電力の活用について可能性調査を実施し、各施設における電力の需給量の把握や余剰電力の送電手法、課題等について整理した。 これにより、余剰電力の他施設における活用に向けた方向性が定められた。今後は、余剰電力の活用状況の「見える化」など広報手段についても検討する必要がある。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	美浜町エネルギーシェアリング利活用可能性調査業務
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	八千代エンジニアリング株式会社 福井事務所
	契約金額（間接補助金額）	9,328,000円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	公共施設等における P P A モデル導入可能性調査事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	美浜町内の公共施設に対して、P P A モデルによる太陽光発電設備の導入により、エネルギー構造の転換を図るとともに、利用者に対する再生可能エネルギーの理解促進を図る。	
総事業費	4,950,000円	
補助金充当額	4,950,000円	
定量的目標	町内への再生可能エネルギーの導入及び利用者に対する再生エネルギーの理解促進	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>町内公共施設の施設規模や電力重要を把握し、太陽光発電設備設置可能性のある対象施設の絞り込みを行った。その後、事業可能性のある施設について、P P A モデルによる事業の実現可能性について調査を実施した。</p> <p>調査において、各施設の太陽光発電設備設置容量の規模や自家消費電力量を把握することにより、事業実現に向けて必要な太陽光発電設備の規模等を把握することができた。</p> <p>町内公共施設においては、設置容量の規模や自家消費電力量が少ないことから、P P A モデルによる実現可能性のある施設がないという調査結果となった。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	美浜町内公共施設における P P A モデル導入可能性調査業務
	契約の方法	指名競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社サンワコン 嶺南営業所
	契約金額（間接補助金額）	4,950,000円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から 3 ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領 8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。

- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	電池推進遊覧船及び発着施設を活用した再生可能エネルギー地域啓発事業	
補助事業者名	福井県美浜町、若狭町	
補助事業の概要	美浜町レイクセンターに整備された太陽光発電設備と、その電力を使用して航行する電池推進遊覧船を活用し、再生可能エネルギーへの理解促進を図る。 (1) 地域住民対象の施設見学会、セミナー、試乗会の開催 (2) 電池推進遊覧船を核としたツアー造成、モニターツアー実施	
総事業費	9,867,000円	
補助金充当額	9,867,000円	
定量的目標	○電池推進船乗船客数：48,678人（R5年度指定管理者見込） ○観光入込数 美浜町…令和元年：932,717人 →令和7年：1,350,000人 若狭町…令和元年：1,968,600人 →令和7年：2,400,000人 ○電池推進遊覧船事業開始による新規雇用 10名程度の雇用増	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	○電池推進船乗客数：1,088人（4.5月分） ○観光入込数 美浜町：令和4年：663,268人 若狭町：令和4年：1,837,200人 ○電池推進遊覧船事業開始による新規雇用：10人 ○見学会、セミナー、体験試乗会：10回・118人参加 ○モニターツアー：6回・79人参加	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	美浜町レイクセンター及び電池推進遊覧船を活用した再生可能エネルギーの理解促進
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	三方五湖DMO株式会社
	契約金額（間接補助金額）	美浜町：7,502,000円 若狭町：2,365,000円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 2 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	美浜版エネルギーツーリズム推進プロジェクト加速化に向けた美浜町高島市間道路整備効果調査・検討事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	「美浜町エネルギービジョン事業化計画」加速のための地域状況の把握と経済効果の検討を行う。	
総事業費	14,993,000円	
補助金充当額	14,993,000円	
定量的目標	美浜版エネルギーツーリズムが高島市側にも広域的に拡大・伸展することで再生可能エネルギーの理解促進を進める。	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	広域交通ネットワークの構築により移動時間の短縮が図られ、「美浜町エネルギービジョン事業化計画」の加速はもとより、再生可能エネルギーを活用する滋賀県西部および北部との間において、人、物の流れを創出（雇用効果・経済効果）とともに、エネルギーツーリズムの拡大・理解促進、防災力（原子力災害時の広域避難等含む）の強化が期待できる結果が得られた。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	美浜町高島市間道路整備効果調査・検討業務委託 1 式
	契約の方法	公募型プロポーザル
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社建設技術研究所 福井事務所
	契約金額（間接補助金額）	14,993,000円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。



5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 3 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	嶺南版ゼロカーボン・スマートタウン形成に向けた調査	
補助事業者名	福井県美浜町、福井県	
補助事業の概要	<p>「スマートで自然と共生する持続可能な地域」という将来像の実現に向けて、美浜町においてゼロカーボン・スマートタウンの形成に向けた調査を行う。</p> <p>また、再生可能エネルギー等を活用した電力供給、災害時の地域内での電力供給等、地域の特色を活かしたサービスの提供についての調査を行う。</p>	
総事業費	11,880,000円	
補助金充当額	11,880,000円	
定量的目標	<p>令和 7 年度：嶺南版ゼロカーボン・スマートタウンの運用を図り、住民だけではなく、地域外に向けても再生可能エネルギーを理解促進させる。</p> <p>令和 8 年度：美浜版ゼロカーボン・スマートタウンの分譲開始</p>	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>今年度の調査結果から、町内で 8 地点の候補地が抽出された。</p> <p>また、本町におけるスマートタウンでの提供のみならず、他地域への水平展開が可能な新しいサービスに関する調査・検討を行い、幾つかのメニューを取りまとめた。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	ゼロカーボン・スマートタウン形成に向けた調査業務委託
	契約の方法	公募型プロポーザル方式
	契約の相手方（間接補助先）	パシフィックコンサルタンツ株式会社 福井事務所
	契約金額（間接補助金額）	11,880,000円
来年度以降の事業見通し	<p>令和 5 年度：基本構想作成・基本設計</p> <p>令和 6 年度：実施設計</p> <p>令和 7 年度：造成工事</p> <p>令和 8 年度：分譲開始</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から 3 ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領 8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる

限り数値を用いて記載すること。

- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 3 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	電池推進遊覧船を活用したスマートコミュニティ拠点整備プロジェクトにおける観光集客力強化事業	
補助事業者名	福井県美浜町、若狭町、福井県	
補助事業の概要	湖上観光の集客力向上、安全性向上のため、電池推進遊覧船航路の難所にあたる浦見川に再生可能エネルギーを活用した先進の安全航行システムを既存再エネ設備と一体的に導入・効果検証を行う。 (1)安全航行システムの開発 (2)電光掲示板の設置 (3)河川監視カメラ・注意喚起スピーカーの設置 (4)水位監視カメラ及び流向流速計・水位計等の設置	
総事業費	108,570,000円	
補助金充当額	108,570,000円	
定量的目標	○電池推進船 乗船者数：56,000人 (R5年度)	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	○電池推進船 乗船者数：48,678人 (R5年度指定管理者見込) ○電池推進船 乗船者数：1,088人 (4.5月分)	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約(間接補助)の目的	電池推進遊覧船安全航行システムの構築
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方(間接補助先)	パナソニックコネクト株式会社 現場ソリューションカンパニー中日本社
	契約金額(間接補助金額)	108,570,000円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記

載不要。

5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和3年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	地域づくり拠点化施設（道の駅）に向けた再生可能エネルギー導入事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	美浜町地域づくり拠点化施設（道の駅）に再生可能エネルギー設備（太陽光発電設備）を設置し、再生可能エネルギーの理解促進を図る。 ・太陽電池 41.25kW	
総事業費	44,891,000円	
補助金充当額	44,891,000円	
定量的目標	美浜町地域づくり拠点化施設（道の駅）の年間施設利用者数 ・令和3年度 0人（美浜町地域づくり拠点化施設（道の駅）整備中） ・令和4年度 45万人（令和4年度春に開駅予定） ・令和5年度 50万人	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	美浜町地域づくり拠点化施設（道の駅）の来館者等に向けて、デジタルサイネージに表示し、再生可能エネルギーの理解促進を図ることが可能となった。なお、令和4年度に開駅を予定していたが、工事等の遅れにより令和5年6月の開駅となった。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約  （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	①太陽光発電設備設置工事 ②太陽光発電設備設置工事監理業務
	契約の方法	①指名競争入札 ②随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	①(株)伊藤電機 ②(有)山口設計事務所
	契約金額（間接補助金額）	①42,999,000円 ② 1,892,000円
来年度以降の事業見通し	再生可能エネルギーの更なる活用・PRのため、蓄電池設備の設置を予定。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。

- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和3年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再生可能エネルギーを活用した電池推進遊覧船発着施設整備事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	<p>再生可能エネルギーの利活用と理解促進を図るため、美浜町レイクセンターに、電池推進遊覧船等に電力を供給するための「太陽光パネル」や「蓄電池」、「急速充電器」を導入するとともに、再生可能エネルギーの発電・消費状況等を確認できる「情報表示モニター」を開発・整備する。</p> <p>(1) 全体システムの策定  (2) 太陽光発電・蓄電システム製作・工事  (3) 急速充電装置製作・工事  (4) 情報表示モニター製作・工事</p>	
総事業費	175,164,000円	
補助金充当額	175,164,000円	
定量的目標	○電池推進船乗船客数：48,678人（R5年度指定管理者見込） ○電池推進遊覧船事業開始による新規雇用：10名程度	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	○電池推進船乗客数：1,088人（4.5月分） ○電池推進遊覧船事業開始による新規雇用：10人	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約の目的	発着施設における太陽光システムの構築
	契約の方法	実施設計：指名競争入札 工事監理：随意契約 工 事：制限付き一般競争入札
	契約の相手方	実施設計：(有)山口設計事務所 工事監理：(有)山口設計事務所 工 事：株式会社三和電工社、株式会社テイク、新美浜町レイクセンター（仮称）太陽光システム導入工事特定建設工事共同企業体
	契約金額	実施設計： 11,165,000円 工事監理： 4,136,000円 工 事： 159,863,000円
来年度以降の事業見通し	再生可能エネルギーで航行する電池推進遊覧船への太陽光システム導入事業（2隻目）	



(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。